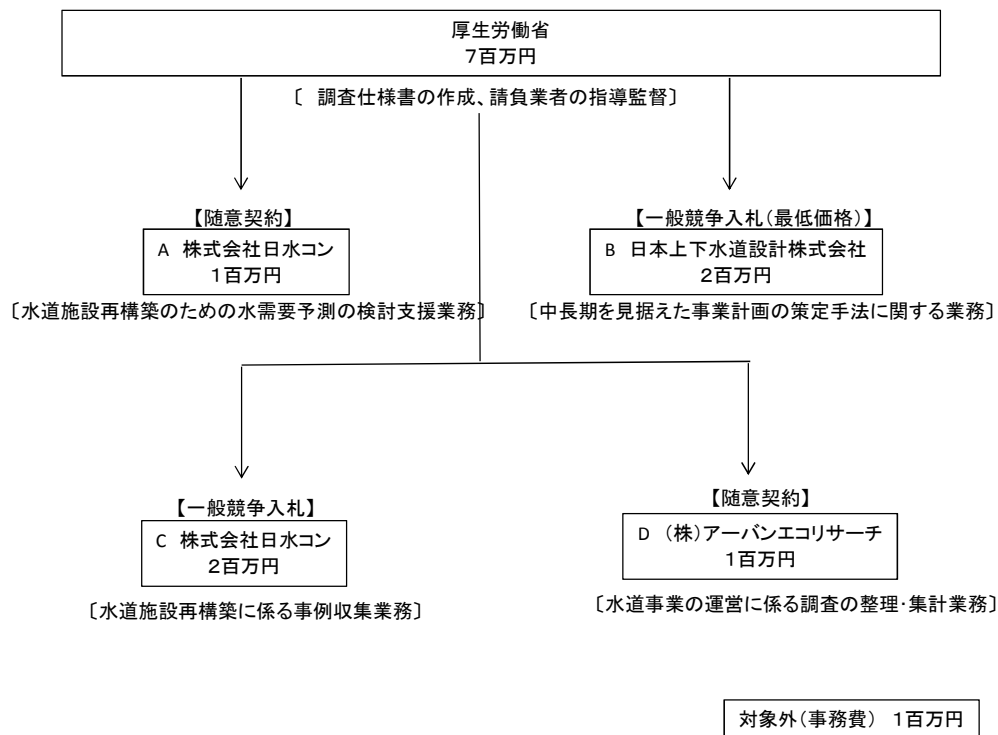


平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>		水道施設再構築計画策定支援事業		<b>担当部局庁</b>	健康局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成26年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	平成27年度	<b>担当課室</b>	水道課		水道課長 宮崎正信		
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	II-2-1 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-			<b>関係する計画、通知等</b>	新水道ビジョン				
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	人口減少社会に伴うダウンサイジングや強靱で持続可能な水道施設の再構築を行うため、人口減少社会に対応した水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引き(仮)を作成し、水道事業者の施設再構築計画策定を支援する。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダウンサイジングを伴う施設再構築計画の事例調査</li> <li>・水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引きを作成するための技術的検討</li> </ul>								
<b>実施方法</b>	委託・請負								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	当初予算	-	-	7	6	-			
	補正予算	-	-	-	-	-			
	前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
	翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
	予備費等	-	-	-	-	-			
	計	0	0	7	6	0			
	執行額	-	-	7	-	-			
執行率(%)	-	-	100%	-	-				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	27年度に水道施設再構築計画策定手引きを100%作成	水道施設再構築計画策定手引きの作成	成果実績	%	-	-	50		
			目標値	%	-	-	50	100	
			達成度	%	-	-	100%		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	ダウンサイジングを伴う施設再構築計画の事例調査数	活動実績	件	-	-	2			
		当初見込み	件	-	-	2	2		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	単位当たりコスト=X/Y X:予算額 Y:施設再構築計画の事例調査数		単位当たりコスト	百万円/件	-	-	3.5	3	
			計算式	X/Y	-	-	7/2	6/2	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	<b>費目</b>	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	食品等試験検査費	6	-	平成27年度事業終了のため。					
	計	6	0						

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	将来に渡り強靱で持続的な水道を確保することは国民・社会のニーズが高く、そのために必要となる水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引きを作成することは適当といえる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	人口減少社会に伴う水需要減少は全国的に見られる傾向であり、水道施設再構築(強靱化)計画策定について指針を示すことは、全国一律に行うべきものであり、国が実施すべき事業といえる。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	将来に渡り強靱で持続的な水道を確保するため、水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引きを作成することは優先度が高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争(最低価格)による入札を用い競争性の確保を図った。(百万円を超えない2業務は少額随契)		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業を実施すること強靱で持続的な水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	調査事例を踏まえた成果品(手引き)は、全ての水道事業者(約1,500事業者)が利用可能なものであり、妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	成果物の発注及び納品過程において費目・使途を十分に把握できている、事業目的に真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	水需要予測に関する専門性が高い業務について別業務とし、業務の効率化を図った。			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	最終的な成果目標(手引き作成)は平成27年度となるが、目標達成に向けた調査(事例調査等)を確実に実施しており成果目に見合った実績となっている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みとおり実施できている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	平成26年度成果は平成27年度業務に活用していく。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	新水道ビジョンでは、人口減少社会に伴う水需要減少傾向の現状における過渡期の施設再構築の必要性を指摘しており、水道事業者は、人口減少社会に伴うダウンサイジングや強靱で持続可能な水道施設の再構築をすることが求められているが、その指針がない状況である。本事業は、人口減少社会に対応した水道施設再構築(強靱化)計画の策定方法の整理に必要な経費であり、事業の目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。				
	改善の方向性	平成27年度終了の事業であり、適切かつ効率的な予算執行により成果目標の達成に取り組んでいく。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	—	平成23年度	—	平成24年度	—	
平成25年度	—	平成26年度	新26-028			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 日水コン	水道施設再構築のための水需要予測の検討支援業務	1	随意契約	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	上下水道設計株式会社	中長期を見据えた事業計画の策定手法に関する業務	23		35%

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 日水コン	水道施設再構築に係る事例収集業務	21		89%

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社アーバンエコリサーチ	水道事業の運営に係る調査の整理・集計業務	1	随意契約	-